

2022年6月15日（水）AIRO 開設記念 物流シンポジウム Part 1
閉会挨拶

ただ今、紹介がありました、運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所長の奥田でございます。

本日は、アセアン・インド地域事務所、AIRO と略称いたしておりますが、その、開設記念シンポジウム「荒波にもまれる ASEAN の物流～タイを中心とした ASEAN 地域の現状と課題への挑戦（Part1）」を、ここバンコクと、私ども研究所の本部がございます東京とをネットで結び、開催いたしましたところ、日本の、また、タイをはじめとする ASEAN インド地域の、大変多くの皆様にご視聴いただき、有難うございました。

また、開催にあたりましては、後援を賜りましたタイ王国運輸省のサックサヤーム大臣閣下、チャヤタン次官、パンヤー交通政策計画局長、さらに、このシンポジウムを、日タイ修好135周年事業に認定くださいました、梨田タイ駐劬日本国特命全権大使閣下をはじめ、学界、産業界の多くの皆さまにお力添えを賜りましたことに対し、心より感謝申し上げます。

さて、本日のシンポジウムは、ASEAN を取り巻く世界情勢が大きく変化
する中、タイを中心とする ASEAN 地域の物流の問題点や課題に関し、皆
様との共通理解を得ることを目的に開催いたしました。

チャヤタン次官から「タイにとっての課題と挑戦」について、
東大の柴崎先生から「国際物流における ASEAN の位置付け」につい
て、さらに、バンコク日本人商工会議所の床並運輸部会長から「タイに
おける物流の諸課題への対応」についてご講演いただきました。

その後、チュラロンコン大学のチャックリット先生をモデレーターと
するパネルディスカッションで、日タイの各界で最前線に立たれている
方々から、ASEAN 地域の物流の現状と課題、そして解決方策についてのお
考えを伺いました。本日のこのシンポジウムが、ご参加頂きました皆さ
まのお役に立てるものとなりましたら幸いです。

なお、本日のテーマに関しましては、今回のシンポジウムで明らかとな

った問題や課題について、その改善、解決に向けた研究調査を引き続き AIRO において実施していくこととしています。その上で、その成果を改めてお伝えしたいと考えております。

さて、本日のシンポジウムを主宰させて頂きました AIRO は、東南アジア・南アジアにおける交通、運輸、観光に関する調査研究の拠点として昨年 4 月、タイ王国バンコクに開設されました。

コロナ感染症による活動の大きな制約もありましたが、そのような時期を経て、本日このような開設記念シンポジウムを開催することができましたのは、皆様のご支援の賜物であると、心より感謝申し上げます。

AIRO は、ASEAN インド地域における交通、運輸、観光の分野における様々な課題につき、皆様のお役に立てますよう、その活動を行って参りますので、今後も、皆さま方のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

なお、これら AIRO の活動は、日本財団の全面的なサポートの下に実施しております。この場をお借り致しまして、日本財団にも改めまして感謝を申し上げます。

結びに、AIRO、そして運輸総合研究所へのご支援、ご指導をお願い致しますとともに、本日ご参加頂きました皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私の閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。